

【第1号議案】

【2021年度事業報告】

▶総会

2021年通常総会

【日時】2022年6月18日(土)

PM14:00から16:00まで

【場所】新型コロナウイルス拡散防止のためオンライン開催

【出席者数】全正会員数 22名 うち出席者数 13名(うち委任状出席 10名)

【議案】

第1号議案 2021年度事業報告及び収支決算報告の件

第2号議案 2022年度事業計画案及び収支予算案承認の件

第3号議案 役員任期満了にともなう役員選任の件

▶理事会

開催状況

今期は理事会上程の案件が無かった事と、理事各位のスケジュール調整が困難な事もあり、個別に理事の意見を聞くという事で、理事の意見を吸い上げた。

第1回理事会

【日時】2022年6月18日(土)

【場所】オンライン会議

【出席者数】理事 3名

▶事務局会議/合宿

スタッフミーティング/インドミーティング開催状況

毎月、スタッフ会議を定例開催した。遠方のスタッフもいるため、オンライン開催と併用で行った。また今年度は支援地とのコミュニケーションを増やし協力関係を強固にするため基本毎月、インドスタッフとも会議を実施した。

スタッフ合宿

7月31日-8月1日にかけてスタッフメンバーを集め1泊2日で理念合宿を行なった。団体が設立し19年経ち時代の変化に合わせて、過去の歴史も学びながら全スタッフで策定した。

以下のビジョンミッションを策定

ビジョン:私たちの目指す社会

すべての人々が「助け合う仲間」として、ともに生き、自分らしく活躍できる社会

ミッション:私たちの使命

インドビハール州スジャータ村周辺の教育環境の向上支援を中心に、関わる全ての人とともに、地域の社会課題を解決する。

<課題>

引き続き時代に合わせた団体の存在意義を可視化する必要がある。また定款の見直しも早期に行い、団体基盤の再構築に繋げる必要がある。

▶コミュニケーション(広報)

■事業の概要

現地の様子を伝えること、ニランジャナセワサンガの認知度を高めること、イメージアップを図ることを目的として活動した。

■2021年度の実績と成果

<実績と成果>

① ウェブサイト

HPの改定を目下の課題として取り組んだが、予算の問題や現状のシステムを使いこなせるスタッフがおらず、今年度はSNSの更新頻度を増加させ、情報発信の強化を図った。

<課題>

- ・HPの一新
- ・ウェブサイトの適時更新
- ・ソーシャルメディアの活用方法

▶支援者サービス

■事業の概要

現地情報や活動の様子をもっと知りたいとの声に応えるために発行回数を年間で3回実施した。

■2021年度の実績と成果

<実績>

(1) サポーターへのニュースレター「ニランジャナ通信(旧:Niranjana Letter)」発行

支援者へ現地の子ども達の様子や各プロジェクトの進捗状況、イベントのお知らせなどを兼ねたニュースレターを会員及び協力者に向けて発送した。また、ニランジャナ通信のデザインを社会福祉系のNPOに外部委託し、地域の社会にも貢献協力することと同時に、スタッフの業務負担の改善を行なった。

(2) 現地からのクリスマスカード発送

2020年児童が支援者に対しクリスマスカードを約200枚作成し、支援者のもとに郵送した。

<課題>

サポーターの方々の現地とのつながりや、会員・運営スタッフ同士のつながりの機会を作ることにより、より団体や活動に親しみを持っていただく必要がある。

▶スタディツアー事業

インド・ビハール州ニランジャナスクールでの授業ボランティアや、近隣の村への訪問などを通し現地の住民たちと触れ合うことで、参加者の見聞を広めるとともに、現地での様々な体験を通じて、児童やスタッフと国境を越えた関係性を築くことを目的としたプログラムである。

■2021年度の実績と成果

<実績と成果>

新型コロナウイルス感染症の拡大により、実施できなかった。

▶ イベント事業

■ 事業の概要

イベントへの参加及びブース出店を通し、広く団体の活動を知って貰う。

■ 2021 年度の実績と成果

<実績と成果>

生涯学習フェスタ2021に参加し、ブース出展を行なった。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、実施できなかった。

▶ 研修・セミナーの開催と参加

① 大阪市総合生涯学習センターネットワークサロン

日時 2022年2月19日(土) 14:00~16:00

場所 大阪市総合生涯学習センター 第8研修室

内容 「インドバーチャルツアー」

インドスジャータ村をディベンドラ氏や現地スタッフに案内して頂く。

又その機会に当団体の活動やインドビハール州の状況や教育事情の講演を行った。

② 理念合宿

日時 2021年7月31日-8月1日

場所 大阪市内の会議室及びオンライン

内容 団体の歩みを学び、時代に合わせた目標作り

③ 石鹸作り研修

日時 2022年2月12日(日) 13:00~16:00

場所 大阪市総合生涯学習センター

内容 国内での新規事業として、インド現地で栽培したインドオイルやハーブなどを日本に輸入し、日本で加工販売する目的で手作り石鹸研修を実施した。今後の活動に活かしていく。

▶ 内部環境の整備

■ 事業の概要

今年度、国内スタッフが大阪と東京各地で増加した。その為昨年導入した Google Workspace と slack を活用し団体をオンライン上で運営する機会が増加した。また、会員からの寄付やクラウドファンディングなどを効率的に対応するため、新たに Syncable(シンカブル)を導入した。

■ 2021 年度の実績と成果

シンカブルとは

個人と非営利団体を繋ぐ、ソーシャルアクションを促す寄付のプラットフォームサービスです。

全国で活動する 2,000 以上の非営利団体へクレジットカードで寄付をすることができたり、ご自分で寄付を集めるキャンペーンページを作成することができる。また、ファッションアイテムを送って寄付する方法など、金銭的以外にも団体を支える仕組みもある。
導入後、早速ニランジヤナスクールと BEAM スクールの建物改修のためのクラウドファンディングを実施できた。

<課題>

活動メンバーが増え、部内での活動が増え業務スピードは向上したが、部門間の情報共有が少なくなった。今後より透明性のある団体を目指すため、議事録での会議内容の記録や Slack でのコミュニケーションを徹底するなど、セキュリティ一面も考慮した団体運営が必要。また、寄付サイトに関しても、基幹となる団体 HP が未完成であるので、早期に完成させる。

インド①▶学校教育

■事業の概要

「他者への思いやりの心を育てること」を教育の理念とし、現地パートナー団体トラストと連携を取り合いながら、貧困地域において学校教育を提供している。学力向上及び自立支援授業、教科書配布、制服支給、給食配給(週 2 日)をすべて無料で実施。

2003 年よりブッダガヤ周辺の 17 の村々の最貧困層の子どもたちを対象に、学校教育を支援しており、これまでに 17 年間、年間約 500 名の子どもたちに、無償支援。授業料が払えない、制服や教科書を買うことができない子どもたちのために支援を行う。

地域の教育レベルの底上げに力を入れていくと同時に、経済的貧困が理由で進学・就職ができないという子どもたちを支援するために、義務教育の期間を終えるまで、学校教育を提供している。

教育面で特に力を入れているのが、英語、一般教養、そして国際交流である。世界情勢を幅広くとらえ、国境を越えた視野を持つことができるよう、世界各国からのボランティアを受け入れ、授業やワークショップに積極的に参加することで実践的なコミュニケーション能力を培う。学校には、ヒンドゥー教、イスラム教、仏教、シーク教などさまざまな宗教背景を持つ子どもたちが一同に学んでおり、すべてのカーストの子どもたちが分け隔てなく一緒に机を並べる。

■2021 年度の成果:

・新型コロナウイルス拡散防止のため、昨年同様度々休校になった。そのため、現地のスタッフで教科書の配布を行い、電話での質問対応を実施した。合わせて、昨年トライアル実施したオンライン授業を本格的に始動させ、格安スマートフォンを貧困家庭に貸し出しするために、28 台新たに寄付した。

・今後も引き続き学校閉鎖が長期化することを見越し、オンライン授業実施に向けた環境整備や教員研修を行なった。

現在、本校の生徒数は 320 名。ビームスクールが 180 名

<課題>

1 年間学校閉鎖が国内全土で行われ、富裕層は自宅で高品質なオンライン授業などの手厚いサービスを受け、中間層から我々の支援する貧困地域までがオンラインの授業を受けるためのデバイスがないことや良質な授業を受けられる資金がないことで、今後ますます格差が拡大する可能性が高い。寄付したデバイスの今後の活用方法を検討する必要がある。

インド②▶孤児院(ドミトリー)

■2021 年度の状況:

・日本からの送金だけではやっていけない為、新規の孤児受け入れは行っていない。

インド③▶スジャータ・アシュラム(女性センター)

■事業の概要

女性の地位の向上に向け、家庭の中でも自信や誇りを持ち、強く生きていけるようにと始まったプロジェクト。2011年にスジャータ・アシュラムが完成。裁縫教室、メヘンディ教室、ペイント教室、識字教室を実施。

■2021年度の状況:

チームピースチャレンジャーの支援と生産委託で、仕事としての縫製・収入と技術習得の機会を提供している。

インド④▶植林・有機農業

■事業の概要

乾燥・干ばつ被害が広がるビハール州南部に林や森を取り戻し、生物多様性を回復させるとともに地球温暖化を防止する。また、植林と有機農業の混合実績によりアグロフォレストリー(森をつくる農業)のモデルケースとなることを目的としたプロジェクト。開始から7年がたち、マンゴーが実るようになり、その他の木々も順調に育ってきている。植林地を動物侵入による被害から守るため、柵の建設を開始している。有機農業の畑にて、土作りと再耕作を計画した。

■2021年度の実績と成果

・今年度実施報告なし。

インド⑤▶ウォーターポンプ設置・特別ドネーションの募集

■事業の概要

ニーマ村の水事情が悪く、依然として水を遠方の井戸から運ばなければならない状況となっている。ウォーターポンプ(一口1万円)の特別寄付を募集した。

■2021年度の実績と成果

・1基周辺の村に寄与

インド⑥▶新型コロナウイルスによる緊急支援事業

■事業の概要

2021年7月末に会員様を中心に寄付を募り、日本円で110万円を送金し、以下の緊急支援を実施した。

- 1、マスクの配布
- 2、酸素ボンベの寄附
- 3、食料の配給
- 4、予防促進プログラムの実施
- 5、ワクチンの接種会場の提供
- 6、ニランジャンスクール及びBEAMスクールの校内消毒の実施

■実績と成果

支援地の方々の多くは、ホテルやレストランでの労働に従事しているが、環境に依存している地域のため観光客が減ると、収入がへる。そのため、今回の緊急支援により、一時ではあるが生活を支えることができた。またマスクをつける文化のないインドで教育機関としてマスクをしたり手洗いを徹底する意味を指導したり、地域にポスターを掲示し啓発するなど、私たちにしかできない支援を行なった。
